

東浦町教委との話し合い 2019年9月18日(水) 16:00～ 於 東浦町役場

委＝東浦町教育委員会＝恒川渉 教育長 田川弘樹 指導主事 吉峯宏明 指導主事

組＝知教労 市野司 副委員長(西部中) 池田博 教文部長(石浜西小) 古川登 中部支部長(片葩小)

勤務時間・労働条件について

組 県「多忙化解消プラン」の「今年度までに80時間以上超過勤務者を0にする」は達成可能か？

委 難しい。

組 組合の調査によると、今年度4月の80時間以上超勤者は小学校で40%、中学校で70%。休憩が取れたものとして計算されているので、休憩が取れていない現状では、超勤者の割合は更に増える。

委 「勤務時間」という捉え方ならそうなるが、「在校時間」としてしか把握できていない。

組 教委としては現状をどのように捉えているか？

委 具体的方策を考え、ある程度のことはやったが、実際には超勤は減っておらず、これから何をしたらよいかいいアイデアが浮かばないのが現状だ。

組 東中は昨年度「働き方改革プロジェクト」を行い、県の「多忙化解消検証校」として紹介されていた。昨年度の超過勤務者の月別推移で、100時間超過者が10月が10人だったのが、11月が「1人」と、劇的に少なくなった。どうやって減らしたのか？

委 10月は学校祭があったのと、多忙化解消のワークショップを半年やって、できる状況が生まれた。

組 (東中では)3学期にかけて少ない数字で推移していたのに、今年度4月には100時間が22人、80時間が11人と、元に戻ってしまった。

委 東中は人事異動が多く、4月の立ち上がりは厳しい。人数は多いが、実態は先生方から帰る時間が早くなり、土日の自由な時間も増えたと聞いている。

組 東中は改善の兆しがあるが、逆に北中は80時間以上が87%と酷くなっている。

委 東中でやれていることが北中でやれていないというのがいくつかあるので改善したい。

組 超過時間を減らすのは物理的問題で、部活を減らすしかない。

委 時間外を減らすよう各学校へ話はするし、部活動ガイドラインは守るように言うが、教委として「部活をこの時間で切り上げなさい」とか、小学校部活も「やめなさい」という考えはない。

組 所見や学校訪問指導案はずいぶん改善されたが、それでもまだこれだけの人が超過勤務している。

委 タイムカードを押して残っていくようなことはあってはならないと校長・教頭には話をしている。先生たちの意識改革も必要だ。

組 ソフト面はそうかもしれないが、ハード面を先陣切ってやっていくのが教育委員会の役割だ。

組 部活を学校独自でやめるのは可能か？

委 去年も話題に挙がったが、陸上大会をやめて新しい大会にという時に、「自由参加です」という話をしたが、結局「全部の学校が出る」となった。

組 なかなか「ウチは出ません」と言うのは難しい。

組 割振りの状況は学校や個人によってばらつきがある。私はよく取っている。その姿を周りに見せる。

委 そういうことは大切だ。気兼ねなく帰れる雰囲気があるのは良いことだ。

組 割振り対象の項目を4月の職員会議で明示してほしい。

委 勤務時間に対して意識が薄い人もいるから、話をしていきたい。

組 先日、夕休憩10分前に「模擬授業をやるから来てください」ということがあった。教頭には抗議したが、休憩時間に働く(働かせる)ことが当たり前の他校や他市町から来た先生には、勤務時間や休憩時間に対し意識が薄いと感じる場面が多い。

組 作品募集について。読書感想文は「読書好きな子どもを育てる」というのが、逆に読書嫌いを作っていないか？中学校だと担当生徒数、5クラスなら200人近い感想文を夏休みの終わりに読む。2-3行読んでボツにすることも。「教育的営み」とはほど遠い。

他の作品募集も、主催者側から取りに来てほしい。学校に選考を課しているものは掲示もできないし、児童・生徒に申し訳ない。できれば全部提出したい。

委 学校で選考してくれというものがあれば、全部出させてくれと言うようにする。

組 学校訪問について。いまだに事前の環境点検をやっている学校もある。

委 学校経営会議で話をする。

組 話をしても環境点検はきつとやる。

組 今年度より始まった（知教労が問題視し教委に申し入れを行った）「授業力向上事業（授業訪問）」について。現場の反応はどうか？廃止はあるのか？

委 若手は授業を見てもらう機会もなく、アドバイスをもらえるのはありがたいという声はある。廃止は考えていない。

組 報告書や指導案は任意、希望者のみが対象というの是不変わるか？

委 任意だ。絶対というものではない。学校訪問も授業訪問も、形式的に上から指導するのはやめていきたい。授業づくりで悩んでいること等をフラットに話ができる場になればよい。

組 「形式的にやらなくていい」と言えば言うほど現場は忖度してやってしまう。

委 そういう傾向があれば直していく。

組 変形労働時間制について。愛知県内には「導入しない」と明言している自治体もある。問題の多い制度だと思うが、東浦町はどう考えているか？

委 形式的にやれば先生たちが困るのは目に見えている。メリットもデメリットもあると思う。運用のしかたで先生方のためになるならやることもある。夏季閉庁や留守電も「困る」という学校があったらやめる。教員の都合だけでなく保護者や地域の理解を得ながらやっていきたい。

組 文科省が「教員が夏休みを確保できるよう」出した「通知」通り来年度は研修を減らすのか？小学校英語・道徳の評価について皆知りたがっている。

委 教委主催の夏休み中の研修は1つだけ。ミニマムは確保したいので廃止はしない。研修の中身は先生方の望むものに変えて充実させたい。

労働安全衛生法の適用について

組 「100時間超えると面談になるから減らせ」という指示で「タイムカードを切ってから仕事を続ける」「土日はタイムカードを切らない」という事例を聞いた。知多管内で100時間超過が続いた若い先生が倒れた。いつ誰が倒れてもおおしくない状況だ。

部活動の見直しについて

組 1学期は朝部もなかったが、2学期から朝部が再開し、「あーあ…」という雰囲気はある。小学校の部活は酷暑もあり、期間の短縮はできないか。

委 口頭で検討してくれという話はしたいと思う。教育委員会から一方的にこうしなさいとはしない。

組 小学校の部活は体力のある子が運動部に入り、体力に問題のある子は入らない。二極化している。

委 子どもがどこで運動嫌いになるか検証が必要だ。大会に向けて部活をやっている部分がある。大会がなくても別の種目で部活があってもいい。

組 東浦の球技大会は町教委主催だから変革がしやすいはず。体協が絡むとしがらみがあって難しい。

「全国学力・学習状況調査」について

組 「練習」をさせようとする教員がいるが、「練習」はいかなる理由でもいけないう確認で良いか？

委 テストに生かせる力がつく授業をやればよい。

その他

組 「授業訪問」のアドバイザーが他市町の学校で「道徳の教科書は必ず使わなければならない」「他の教材を使う時は校長の許可を得なければならない」等と発言したそうだが、県教委は道徳の「多様な資料の活用」を認めている。

組 特別教室のエアコン設置は進むか？

委 もともとは特別教室が先の予定だったが、順番がひっくりかえてしまった。必要なところには順次入れていきたい。

組 名古屋で問題になった自然教室の「火の舞」についてはどう考えているか？

委 何でも事故があったらやめるというのはおかしいのではないか。名古屋の学校はマニュアルを守っていなかった。東浦では事故無く長年やれている。やる、やらないは学校が判断すればよい。

組 中学校定期テスト。期末は3日から2日、中間は2日から1日日程に。教員も子どももきつい。

組 「町長だより（教えて神谷町長）」の中で夏休みの短縮について触れていたが、計画はあるのか？

委 考えていない。

組 歩道橋工事に伴う通学路の変更で、校務主任が業者との連絡を担っている。本来行政の仕事では？

委 校務主任に一任はいけない。教委と一緒に話をするればよい。

以上